

部会の取り組み
<p>相談支援部会</p> <p><発達障害者への支援></p> <ul style="list-style-type: none"> 事例検討、継続した支援方法の検討、施設見学等 <p><高齢障害者への支援></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢による生活の困難を把握、事例検討 介護保険への移行について、ケア24との連携検討 ケア24との交流会(H21・22年度) 事例報告&意見交換 <p><グループホームへの支援></p> <ul style="list-style-type: none"> グループホーム見学(H21・22年度) グループホーム世話人会への参加、課題検討 <p><学齢期の家庭支援></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係機関見学(済美教育センター・永福学園・済美養護学校) 済美養護学校教員向けアンケートの実施 済美養護学校教員との懇談会実施 地域の家庭支援の社会資源調査 課題提起(地域デイ・放課後活動の場の不足、移動支援の使いづらさ、緊急時ショートステイの仕組み等)
<p>地域移行促進部会</p> <p><テーマ~地域医療について~></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療に関するアンケート実施 アンケート報告と意見交換会開催(精神・知的障害) 私の健康ノート作成と試行 入所施設、病院からの地域移行にあたり、安心して安定した生活ができる地域の基盤づくりについて 継続した治療と生活支援、服薬管理等への支援など人的支援体制の仕組みづくりの検討 <p><地域移行促進の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 「精神障害者退院促進事業」および「知的障害者の入所施設からの地域移行」の取組の現状と課題の提示
<p>合同部会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のネットワークと自立支援協議会障害者支援と地域のネットワークのあり方について 地域で生活していくための人的支援について

協議会で論議・確認したこと
<p><21年度~22年度第2回自立支援協議会までの論議・確認したこと></p> <p>第1期の成果を踏まえ21年度に取り組む課題 部会の増設提案 サービス提供・就労支援の部会の設置、成年後見制度との連携、相談支援事業所の体制検討、教育と福祉の連携、高齢障害者・発達障害者の支援、地域移行促進に関する医療や生活の支援体制、報告だけでなく論議と地域の検証を</p> <p>高齢障害者への支援について 自立支援法と介護保険法の制度やサービスの違いを確認、連携先としてお互いの機関を認知、連携を経て介護保険サービスへのスムーズな移行支援に活かす</p> <p>発達障害者への支援について 発達障害者の専門相談窓口が不明確、引きこもりも多く保健師と連携して支援したい、発達障害者への周囲の理解が進むような支援が大切、手帳を持たない方や障害特性に応じた支援が課題</p> <p>障害者の地域医療について 地域医療に関するアンケートを意味のあるものに、障害者の対応について医師をサポートするネットワークシステムが必要、支援者が障害者を見る姿勢も大切、他自治体の地域医療の取り組みも参考に、協議会への医師の参加を、ノート作成への意見</p> <p>地域で実施されているネットワークの現状について 年3回の協議会では議論の時間が少ない、協議会の下にもう少し部会がほしい、足りないサービスを考える部会が必要、既存の会議体の機能を活かし意見や課題を協議会に上げる仕組みづくりが必要、既存の会議体の議論内容の提出を。</p> <p>障害者サービスと連携について 役割分担の明確化が必要、情報の共有や定期的な点検・連絡が重要、学齢期の家族支援やサービス利用支援について相談支援との連携が必要</p> <p>*課題解決の提案用紙記入依頼 課題解決の提案から見えてきたこと・自立支援協議会の機能と意義・方向性・協議会運営の視点の確認、具体的解決の主語(主体)の明確化、初期相談への対応、情報の共有、ネットワークの構築(誰のために行うのか) 個別支援会議の充実(定期的な開催や会議のルール確認) 杉並での展開を協議する必要あり</p> <p>学齢期の家庭支援と相談支援事業の役割 地域デイや日帰りショート不足 障害福祉計画等に反映を、特別支援学校の現状(機能訓練や補装具相談が学校で受けられない、サービスを使う旨味が保護者に伝わっていない、軽度の障害児(者)を地域で支える仕組みが必要) 相談窓口が不明確、ケア24のように相談を受け止めてスクリーニングする仕組みが必要、相談事業所が何をしてくれるのが情報発信する必要性、思春期の相談への対応が足りない(学校や家族への啓発、早期の相談対応のしくみ)、病院のカルテ保存機関が短い、学校と相談支援とで個別支援会議を定期開催するしくみがあるとよい、協議会の中でグループを作り提言できるとよい</p>
<p><22年度第3回自立支援協議会での報告と論議></p> <p>障害者の地域医療について アンケート結果をもとに地域で診療を受けやすくするための具体的な取組の検討 適切な医療機関情報の提供 当事者の健康情報の伝達方法の検討(受診時・医師と家族が診療内容を共有できるツールの必要性) 人的支援の取組み(一人での通院・服薬管理・通院付添対応困難の割合大)の検討</p> <p>地域移行の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の退院促進事業から見えてきた課題 長期入院者の掘り起こし、個別支援会議を重視した病院関係者と地域の支援者間での医療面・生活支援面の情報共有、柔軟な支援策の検討 知的障害者の入所施設からの地域移行 グループホーム増設の取組が不可欠、特に支援を多く必要とする人に対する支援体制の充実・継続した生活支援を実施できるサービス提供のあり方の検討

課題と今後の方向性
<p>課題</p> <p>*2期4年の協議会運営では、相談支援・地域移行に取組む現場から、部会の活動を通して本人の自立支援に関する具体的課題が明らかにされてきた。課題改善に向けた協議会での検討・発信・組織化・取組には引き続き努力課題あり。</p> <p><協議会の運営について></p> <ul style="list-style-type: none"> 議論の時間を確保するための開催回数の検討 部会増設の検討 部会と協議会の連動 部会から上げた課題を協議会と一緒に考える仕組みの検討 議論の展開方法の検討 地域の検証 <p><相談支援・個別支援会議の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別支援会議の充実に向けた杉並での展開の議論 相談支援の充実に向けた具体的方向と対策の具体化の検討 <p><ネットワーク構築></p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の会議体と協議会との位置づけや連携の検討 学校との連携課題検討グループ設置の検討 学齢期や思春期の相談課題の検討 協議会は地域のネットワークの中核となる役割を担うこととなっている。本人・支援者・区民との関係にとって必要となる柱のネットワーク像の確認・検討 <p style="text-align: center;">課題解決までに至っていない</p> <p style="text-align: center;">第3期自立支援協議会に向けて</p>